



「やまだイケ麺スタンプラリー」のイベントを盛り上げようと12月12日「ジャンボかた焼きそば」作りが行われ、多くの家族づれで賑わいを見せていました



佐々木良一郎議員

産業振興

商工業振興のため融資制度の改善を

要望があり調査・検討する

質問 町内の商工業の振興を図るため、中小企業向けの融資制度があるが、一部の利子補給を二割にできないか。

また、岩手県信用保証協会の保証料は、融資分の全額を補助し、新規事業者が町内で操業しやすいようにし、若い人たちが山田に多

く残るようにするべきだ。

沼崎町長 現行制度では、町の支援は利子補給の一割のみである。保証料への補助、新規操業者への融資は行っていないが、要望や問い合わせもあり、調査、検討していく。

質問 町で誘致企業として認められる会社の企業投

町の考えを聞く

農業振興

後継者育成をどう進める

若手商工業者の活動を支援

資金額の基準は変わっていないか。変わっていないければ、今の景気に合わせて、投資

金額を下げてよいのでは。
沼崎町長 工場誘致条例では、新設による投下資本総額は、三千万円以上で変わっていない。

下げたらどうかという点については、現行の工場誘致条例の見直しをしていくこととしており、投下資本総額についても、検討していきたいと考えている。

質問 後継者不足と従事者の高齢化で町内に遊休農地が増えていいる。そこで、町が出資して農業生産法人を立ち上げたらどうか。

特に昔から田は天然のダムとも言われている。休耕している田畑を利用して農作物生産、販売に力を入れるべきと思うがどうか。

①稲作

②ビニールハウスでの野菜、花き

③農作業受委託など

沼崎町長 現在、農業委

員会で、遊休農地の実態調査及び農家の意向調査を行っており、町と連携を図り遊休農地の有効利用に向け取り組んでいる。このようなことから、農地の利用集積を図るなどの農業生産法人化の動きがあれば関係機関とともに支援していきたいと考えている。

稲作は、全国的に米余りで、国の生産調整継続により本町での米の増産は難しい。ビニールハウスでの野菜、花きは、今後、力を注ぐ。